

Kids Planet だより

ブログ

〒541-0047

大阪市中央区淡路町4丁目5番8号

S-RESIDENCE淀屋橋 1F

TEL:06-4707-1513



運営法人：ステラケミファ株式会社

2月は一年で最も寒さの厳しい季節とされていますが、2月4日の立春を過ぎると暦の上では「春」となります。昨年、子ども達が植えたチューリップの球根から芽が出始めました。日に日に伸びる芽に水やりをしながら「春になったらお花が咲くのかなあ・・・」と言う子ども達。ささやかながら季節の移り変わりに気付き、嬉しそうに観察しています。チューリップの花が咲く頃には子ども達それぞれが卒園や進級・退園を迎えます。残りわずかな日々を大切にしながら皆で過ごす時間を楽しみたいと思います。



楽しい気持ちの共有「やりもらい遊び」

0・1歳児の子ども達の間で「やりもらい遊び」が活発化してきました。「やりもらい遊び」とは、例えば玩具を「どうぞ」と相手に渡して、相手は「ありがとう」とお礼を言うような、やり取りをする遊びです。今まで一方的なコミュニケーションだったのが、双方のコミュニケーションで成り立ち、友達と楽しさを共有できる効果があります。また、人とのコミュニケーション作りの基礎となります。やりもらい遊びが日常的に行われるようになり、子ども同士で笑い合う姿が増えました。ますますたくましく成長している子ども達です。

2月
の予定

3日：身体測定 7日：誕生会 20日：避難訓練



13日 しんたろう くん 3歳 16日 せんり くん 3歳
17日 ゆうが くん 4歳 28日 まゆこちゃん 2歳

ほけんだより

スキンケアの あいうえお

寒い時期は、乾燥による肌トラブルを起こしやすくなります。

「保湿剤を塗っているのに中々改善しない・・・」という場合、スキンケアの方法が適切でなかったり、日常生活に肌を乾燥させる原因が隠れている場合があります。今一度、日常生活を振り返ってみましょう。

あ 厚着は肌トラブルの元

風邪をひかないようにと厚着をさせていると、痒がったり汗をかいたり肌トラブルを招く原因となります。室内では綿素材の衣服で過ごし、ウールや裏起毛素材の衣服は外出用にすると良いです。

い いつでもしっかり保湿ケア

冬だけではなく、年間を通して保湿するのが重要です。夏にしっかりケアしておく、冬に肌荒れを起こしにくくなります。夏は乳液、冬はクリーム等、季節で保湿剤を使い分けるのもオススメです。

う 薄すぎる外用薬の塗り方は効果なし

外用薬の量は、口径5mmのチューブで約0.5g(約2.5cm)が基本です。実際にこの量を手に平に塗った場合、思ったよりも「ベタベタ」になります。「ベタベタ」になる程度が適量となります。

え 選ぶなら、子ども用か敏感肌用の保湿剤

保湿剤は「子ども用」か、大人用の「敏感肌用」と明記してある物を選びます。市販の物で効果がないと感じた場合は、医療機関で保湿剤を処方してもらいましょう。



お お風呂の温度は熱すぎず。優しく洗ってすぐ保湿

お風呂の温度が高いと、肌にかゆみを誘発します。温度は年間通して40℃前後に設定しましょう。体を洗う際に、スポンジ等でこするのは肌トラブルの元。少量の石鹸を泡立てて手で優しく洗い、泡が残らないようにすぎます。入浴後は肌の水分を逃さないよう、すぐに保湿剤を塗りましょう。

